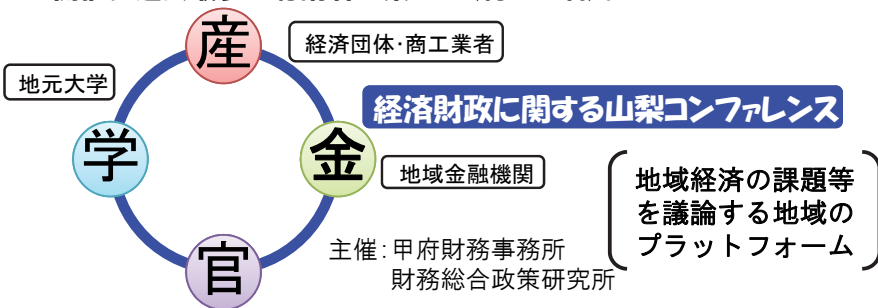


- ◆ 甲府財務事務所では、平成23年度より、行政機関、地元大学、経済団体、金融機関など広範な分野から有識者が参加し、旬のテーマを取り上げ、山梨県内の「先進的」或いは「特徴ある」取組事例の発表と有識者による公開討論を行う「山梨コンファレンス」を開催。
- ◆ 27年度は、27年6月に「人口減少問題・地方創生」をテーマに第5回目を開催。過去最多の聴講者を集めた(約100名)。
- ◆ 第5回の開催を機に、「山梨コンファレンス」の在り方や今後の方向性を検討するためにアンケートを実施(27年10月)。今回のアンケート結果も踏まえ、地域から求められるイベントへ更なる発展を目指す。
- ◆ 第6回は、地域活性化の具体的な取組事例について意見交換を実施予定(28年5月20日予定)。

1. 成果事例の概要等

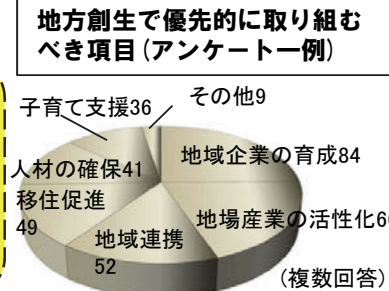
- 甲府財務事務所では、平成23年度より、行政機関、地元大学、経済団体、金融機関、マスコミなど、広範な分野からの参加者が一堂に会し、主に開催時の旬のテーマを取り上げ、山梨県内の「先進的」或いは「特徴ある」取組事例の大学研究者や企業等からの発表と、有識者による公開討論を行う「山梨コンファレンス」を開催。
- 「山梨コンファレンス」は、当所が同県内各分野をつなぐハブ的な役割を担い、地域の情報交換の場(プラットフォーム)とすることで、地域経済の活性化に寄与することを目的としている。
- 山梨大学、山梨県立大学、甲府商工会議所(26年度からは山梨学院大学も新たに加入)との共催。
- 27年度は、27年6月に「人口減少問題・地方創生」をテーマに第5回目を開催。過去最多の聴講者を集めた(約100名)。



2. これまでの取組の成果等

- 第5回「山梨コンファレンス」では、同県で深刻となっている「人口減少問題」及び国を挙げて取り組んでいる「地方創生」をテーマに取り上げ、発表者(地元大学教授)からは同県の現状と今後の見通しの報告や活性化のためのヒントとなる事例の発表が行われ、聴講者からも「現在実施している取組に直結するレポートがあり良い情報が得られた」などの声が聞かれ、好評を得ることができた。
- 今回は、テーマが「地方創生」ということもあり、今後総合戦略等の地域の活性化策を自ら策定しなければならない地方公共団体やアドバイスをしていく立場である金融機関関係者の聴講者が多く、関心が高いことがうかがえた。

23～27年度まで計5回、経済財政に関する「山梨コンファレンス」を実施。今般、一つの区切りとして過去の実績を振り返り、その在り方や今後の方向性を検討するためにアンケートを実施(27年10月)。「良い情報だった」38%、「理解が深まった」28%、「課題解決につながった」「地域に役立った」12%などの回答が得られるなど、地域に根差し、一定の役割を果たしていることを確認できた。



3. 今後の課題と甲府財務事務所の対応

＜今後の課題＞

- これまでの開催においては、事例発表等を聴講してもらう形態であり、一方向の情報発信がメインとなっていた。

＜今後の甲府財務事務所の対応＞

- 「山梨コンファレンス」において、今後、聴講者との意見交換やディスカッションができる形式にしていくことにより、各地方公共団体や地域企業等が抱える課題の解決につながる提案をしていくことが望ましい。

第6回(28年5月20日予定)は、地域活性化の具体的な取組事例について意見交換を実施予定。開催にあたり、同県内地方公共団体に参加を呼び掛け、「山梨コンファレンス」が地域に役立つものとなっていくよう努めたい。

